

News

2017年9月25日

博報堂、事業成長をクリエイティブする 「TEKO」の活動を開始 -5人のCD、MDによるco-direction型プロジェクトチーム-

株式会社博報堂(本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸)は、クライアント企業の事業成長のためのアイデアをクリエイティブするプロジェクトチーム、「TEKO」(テコ)の活動を開始いたしましたのでお知らせいたします。

現在、テクノロジーの急激な進化やグローバル化など、生活者と企業を取り巻く環境は大きく変化してきています。そしてこれに伴い、多くの企業がマーケティングやコミュニケーションだけでなく、事業そのものの変革を進めています。博報堂ではこれまでも、このようなクライアント企業の活動に関わって参りましたが、これをより一層強化していくべく、「TEKO」の活動を始めることにいたしました。

「TEKO」は、広告・マーケティング領域だけでなく、企業の事業戦略や商品開発、サービス開発、インナー改革など、幅広い分野で活動している、5人のクリエイティブディレクター・マーケティングディレクターが協働してクリエイティブする“co-direction”型のプロジェクトチームです。

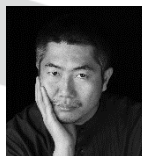
企業活動全般をプランニングのフィールドとし、戦略やコンサルテーションにとどまらず、具体的なアイデアを立案するとともに、各々の異なる専門性を活かし、その実施までをサポートして参ります。

TEKO

Creative Leverage for Growth

社会・物語視点から

市来健太郎
クリエイティブディレクター
デザインラボ『恋する芸術と科学』代表。イノベーションと企業や自治体の物語を結びつけるCD。



事業戦略視点から

吉澤到
クリエイティブディレクター
経営視点での業務経験が多く、16年に英国ロンドンビジネススクールにてSloan MSc(修士)取得。
事業戦略視点からクリエイティブするCD。



商品開発視点から

原田朋
クリエイティブディレクター
TBWAグループの新規事業支援会社QUANTUMのCCOとして、プロダクトやサービス開発に携わる。
商品開発視点からクリエイティブするCD。



デジタル・データ視点から

中村信
マーケティングディレクター
デジタルや生活者データを活用したサービス開発に長年携わる。
デジタル・データ視点でクリエイティブするMD。



サービス/インナー視点から

大澤智規
クリエイティブディレクター
店舗開発や新サービス開発、インナー活性化活動など企業活動全般に関わるプランニングに長年携わる。
サービス開発・インナー視点からクリエイティブするCD。





Creative Leverage for Growth

梲子は、大きなものを小さな力で動かす道具です。
なるべく支点から離れたところに力点を置けば、
作用点で大きな力が得られる、梲子の原理のように。

社会性/事業/商品開発/データ/流通といった、
既存の広告から離れたポイントにクリエイティビティを加えることで、
企業成長のためのアイデアを創出し、成長のレバレッジを狙う。

私たち TEKO は、
新しい考え方でクリエイティブを提供するプロジェクトチームです。

[メンバー]

大澤智規(おおさわともりのり)/統合プランニング局 チームリーダー/エグゼクティブクリエイティブディレクター (リーダー)

1996年博報堂入社。SPセクションに配属され、自動車・飲料・金融・流通・保険などのプロモーションプランニングに従事。その後、マス広告、Web、店頭施策、イベント等にも携わるようになり、クリエイティブディレクターとして大手企業の統合コミュニケーションを多数担当。

現在では、マーケティング・コミュニケーション領域を越えて、新サービス開発や流通・インナー施策など、生活者に商品を「届ける」領域を中心に、企業活動全般のクリエイティブディレクションに活動の幅を広げている。

原田朋(はらだともき)/株式会社 QUANTUM チーフクリエイティブオフィサー

1996年博報堂入社。博報堂、TBWA\HAKUHODO、ロサンゼルス社のCHIAT\DAYで大手グローバルブランドのクリエイティブディレクション、コピーライティングを担当。

現在は、新規事業支援を行う博報堂グループのスタートアップスタジオ『QUANTUM』にて、Designer, Engineer, Creativeの『DECs』チームを率いる。事業ビジョンやコンセプトの策定に止まらず、エンジニアやプロダクトデザイナーと協働するスタイルで商品、サービスを開発する。

吉澤到(よしざわいたる)/ブランド・イノベーションデザイン局 局長代理/シニアクリエイティブディレクター

1996年博報堂入社。コピーライター、クリエイティブディレクターとして大手飲料メーカー、トイレタリー、自動車、生命保険会社など幅広い業種のマーケティング戦略・ブランディング、ビジョン策定、商品・サービス開発、組織変革などに従事。また、グロースステージにあるベンチャー企業の事業戦略支援、地方病院のコンセプト開発などユニークな領域での実績も多数。2016年英国ロンドンビジネススクールにてSloan MSc(修士)を取得。

現在はクリエイティブディレクターとして企業の変革を経営戦略とブランディングの両面から支援している。

市末健太郎(いちきけんたろう)/『恋する芸術と科学』ファウンダー 兼 編集長/シニアクリエイティブディレクター

1998年博報堂入社。広告領域を超えて社会全体におけるイノベーションデザインの必要性を提唱するメディア『恋する芸術と科学』編集長。美術から音楽、建築、プログラミングまで多岐にわたるメンバーで構成される『恋する芸術と科学』デザインラボを創設、理性と感性の衝突による革新的なデザインプロジェクトを、多くの企業経営陣や自治体と実施。

自然科学系の大学や美術大学とのコラボレーション多数。2014年より世界経済フォーラム(ダボス会議)のヤング・グローバル・リーダーズに選出され、活動を世界に広げている。

中村信(なかむらまこと)/データドリブン・マーケティング局 グループマネージャー/マーケティングディレクター

1999年博報堂入社。マーケティングセクションに配属後、さまざまなクライアントの事業・商品開発、キャンペーン戦略に従事。特に、統合情報戦略に関する業務を多く担当し、マス~WEBまで一貫したコミュニケーションを多数手がけてきた。また、adtech等の公式セッション、日本マーケティング協会の講師など、豊富な登壇実績を持つ。

現在は、デジタル、データを使ったマーケティングに従事する一方、博報堂DYホールディングスのマーケティングテクノロジーセンターを兼務し、デジタル・システム・メディアを俯瞰したプランニングを行っている。

【本件に関するお問い合わせ】

博報堂 広報室

大久保

TEL : 03-6441-6161